

とよた 市議会 だより

6月市議会定例会
夏号
平成19年7月15日

ファイルNo.
84

スポーツ活動の新たな拠点を整備します
(仮称)市総合体育館サブホール・市武道館建設工事

交通環境の充実を図ります
財産の取得[基幹バス(中型・小型)]

ピックアップ
TOPICS
トピックス



産業文化センター
プラネタリウム完成予定図

夜空の迫力をもっとリアルに 産業文化センタープラネタリウムの改修が、平成20年3月の完成を目指して進められています。迫力あふれるデジタル投映システムの導入や、約30万個の星を鮮明に映す光学式システムとスクリーンの整備などが行われます。

豊田市議会のあらましについて
ご紹介します 2 ▶ 3

特別委員会の設置 3
予算決算特別委員会・議会課題検討特別委員会

議案説明・討論 工事請負契約や財産の取得など..... 4

採決一覧 議案審議結果 5

常任・特別委員会 付託案件・陳情を審査 6 ▶ 7

市政について問う!

一般質問 24人の議員が質問 8 ▶ 11

情報あれこれ 議員表彰、花飾り活動、委員会視察など 12



豊田市議会のあらましについて ご紹介します

豊田市議会は市民のみなさんの代表として、より良い市政を実現するためにさまざまな活動を行っています。

ここでは、市議会の役割、仕事などの概要と、6月定例会で設置された2つの特別委員会についてご紹介します。

市議会の役割

市が行うさまざまな仕事は、市民のみなさんが全員で考え、話し合いのうえ決定し実行していくことが望ましい姿です。

しかし、実際には市民のみなさんが全員で行うことは難しいため、選挙で選ばれた代表者がその役割を担います。これが市議会議員や市長です。

市議会議員は議会を組織し、市政を進めるために必要な条例(きまり)や予算(あらかじめ必要な費用)などを議決します。また、市長は議会の決定に沿い市政を進めることができます。両者はお互いに独立した立場で、行き過ぎを正し、相互に補い合いながら、より良い市政の実現を図っています。

市議会の仕事

市議会には、市民のみなさんの代表として十分な活動ができるように、議決権、調査権、監査請求権などの権限が与えられており、権限に基づき次のような仕事をしています。

議決 市政を進めるうえで、重要な事柄を決め議会が意思決定することを議決といい、条例の制定や予算の決定、決算の認定などを行います。

選挙 議長や副議長、選挙管理委員等を選挙により、議会で選出します。

検査・監査・調査 市政が正しく行われているか確認するため、事務を検査したり、監査委員に監査を求めたり、直接調査を行ったりします。



市議会の仕組み

議員 市議会議員は、本市に在住する25歳以上の日本国籍を有する人が立候補することができ、本市に在住する20歳以上の日本国籍を有する市民による選挙で選ばれます。議員数は、地方自治法により46人を上限に、議会で定めることができます。本市では条例で40人と定めていますが、市町村合併の特例により、現在は47人の議員数となっています。

議長・副議長 議長・副議長は、議員の選挙により選ばれます。議長は議会全体を統括し、議場の秩序を保ち、

会議を円滑に進める役割を担います。議会の事務を処理するのも議長の仕事です。副議長は、議長不在のとき議長の職務を代理します。

議会事務局 市議会のさまざまな事務を処理するために、事務局を置いています。現在17人の職員がいます。

会議の概要

議会は常に開催されているものではなく、定期的に、または臨時的に一定の期間だけ開催されます。本市議会では、「定例会」を3月、6月、9月、12月の年4回、「臨時会」を必要に応じて開催します。

議会の招集は法の規定に従い市長が行いますが、議長又は議員数の4分の1以上の議員から請求があった場合は、臨時会を招集しなければなりません。

本会議 本会議は、議案などを審議し議会の意思を決定する、最も重要な会議です。市政全般に対する質問で、市政の進め方、考え方を明らかにしたり、議案に対して質疑を行ったり賛成・反対の討論を行い議案の可否を決定します。

委員会 議案は市政全般にわたり、内容も大変複雑になっています。委



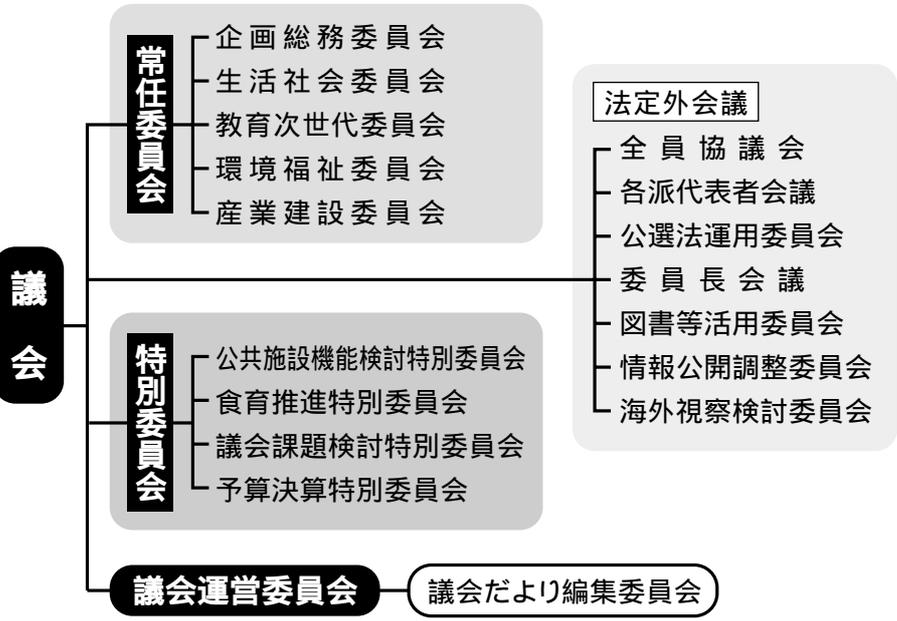
員会では、本会議で付託を受けた議案などについて専門的かつ詳細な審査を行います。本市議会には5つの常任委員会と議会運営委員会、そして4つの特別委員会が置かれています。

また、法定外会議として新たに海外視察検討委員会が設置されました。今後、内容を報告していきます。

(右図参照)



議会の構成



特別委員会

予算決算特別委員会

予算及び決算を連動して審査することが望ましいことから、予算案件(補正予算含む)及び決算案件について、1年を通して同じ特別委員会で審査を行います。

委員長 / 八木 哲也
副委員長 / 山内 健二
委員 / 議長を除く全議員

議会課題検討特別委員会

議員提出議案提出に向けた取組、議会活動に応じた政務調査費の額及び使途基準について、調査研究します。



委員長 / 清水 俊雅 副委員長 / 作元志津夫
委員 / 高木キヨ子、八木 哲也、大村 義則、岡田 耕一、三江 弘海、
小島 政直、神谷 和利、加藤 和男、吉野 博子



工事請負契約の締結(〔仮称〕豊田市総合体育館サブホール・豊田市武道館建設工事)、財産の取得などを審議

6月市議会定例会を8日から26日まで、19日間の会期で開きました。議案31件(条例6件、予算1件、契約13件、財産取得4件、同意3件、議員提出議案1件、その他3件)と報告3件が会議に付され、議案審議結果(5ページ)のとおり決まりました。主な議案について紹介します。

	主な案件名	内 容
条例の一部改正	【第95号】 豊田市災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例	武力攻撃事態等における国民保護法の規定に基づき、豊田市に派遣された行政機関等の職員に対し、手当を支給します。職員の滞在期間と滞在施設に応じて、手当の金額を定めます。
	【第99号】 豊田市足助バス及び稲武バスの運行に関する条例の一部を改正する条例	旭地域バスの運行について必要な事項を設定するとともに、足助バスの使用料の改定を行います。
契約	【第112号】 (仮称)豊田市総合体育館サブホール・豊田市武道館建設工事	スポーツやレクリエーション活動の新たな拠点として、八幡町地内に市総合体育館のサブホールと武道館を建設します。この施設は3階建てで、競技コートや剣道場、柔道場、トレーニング室などを完備します。契約金額は20億6,829万円、完成予定は平成22年2月です。
財産の取得	【第116・117号】 基幹バス(中型・小型)	交通環境の充実を図るため、基幹バスを購入します。取得価格は、定員55名の中型バス11台が約2億2,719万円、定員36名の小型バス4台が約7,375万円、供給予定は平成19年10月です。

討 論

発言順に記載

諸 派 大村 義 則

議案第98号は郵政民営化に伴い、郵便局に都市計画税を課すためのもの。政府の試算で、民営化の移行期間中にも巨額の赤字が明らかであり、さらなる課税はコスト増になるため反対。議案第101号は、東部給食センターの改築・運営について民間事業者への委託を推進するためのもの。福祉や教育部門などへの民間委託導入は慎重であるべきと考え、反対。

市民フォーラム 庄 司 章

議案第99号、116号、117号は、旭地域バス運行の必要事項の設定と、足助スクールバスの地域バスとしての運用は、中山間地域における公共交通機関の発達を促進するため賛成。議

案第101号は、PFI方式導入の可能性について入念に調査を行った上で、大幅な経費削減や給食の安全性が見込まれる。市民へのサービスの向上を具現化するものであり、賛成。

諸 派 岡 田 耕 一

議案第95号は、武力攻撃災害等派遣手当の支給について必要な事項を定めるもの。武力攻撃災害は国の外交上の失敗から生じるもので、国の責任で費用を負担すべきと考え、反対。議案第120号の都市公園予定区域の決定は、地元の方が籠川に親しみ、触れ合える程度で十分である。広大な(仮)水辺ふれあいプラザ部分は必要性が認められず、反対。

公 明 党 小 島 政 直

議案第95号は、災害復旧の派遣職員への手当に関するもの。危機感を常

に持ち、危機管理体制を万全にして最悪の事態に備えることは、市民の生命を守ることにつながるため賛成。議案第118号は、これまで要望していた、市内の全小・中・養護学校へのAED設置を完了させるもの。これを機に、既存のAEDを含めた設置場所の見直しや案内の表示を要望し、賛成。

自 民 ク ラ ブ 清 水 俊 雅

議案第101号は、PFI方式の導入により施設整備・維持管理・運営面での効率化・省力化を期待する。確実な安全性の確保のため、公共の関与の保持をお願いして賛成。議案第120号は、今回決定される都市公園予定区域は、自然豊かな環境と聞いている。幅広い世代の人々が交流でき、さらなる環境意識の向上と、環境学習効果が上がることを期待して賛成。



議案審議結果

議案名等は、一部省略して記載しています

6月市議会定例会に付された案件

採決結果

会派別賛否

自民クラブ 30名		市民フォーラム 10名		公明党 3名		諸派 4名	
賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対

議長を除く

議案

第95号	災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当の支給に関する条例の一部改正条例	原案可決	29	0	10	0	3	0	0	4
96	職員退職手当条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	1	3
97	市税条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
98	都市計画税条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	2	2
99	足助バス及び稲武バスの運行に関する条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
100	消防団員等公務災害補償条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
101	平成19年度一般会計補正予算	"	29	0	10	0	3	0	1	3
102	工事請負契約の締結(公共下水道事業管渠築造工事・第3工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
103	" (公共下水道事業管渠築造工事・第5工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
104	" (公共下水道事業管渠築造工事・第6工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
105	" (公共下水道事業管渠築造工事・第7工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
106	" (公共下水道事業管渠築造工事・第8工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
107	" (公共下水道事業管渠築造工事・第9工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
108	" (公共下水道事業猿投1号汚水幹線築造工事・亀首第6工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
109	" (公共下水道事業西中山1号汚水幹線築造工事・西中山第3工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
110	" (特定環境保全公共下水道事業管渠築造工事・汐見第1工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
111	" (特定環境保全公共下水道事業管渠築造工事・汐見第2工区)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
112	" ([仮称]豊田市総合体育館サブホール・豊田市武道館建設工事)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
113	工事委託契約の締結(公共下水道事業梅坪ポンプ場耐震補強及び機器設備更新工事委託)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
114	" (公共下水道事業岩倉中継ポンプ場建設工事委託)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
115	財産の取得[仮称]神野広場用地[神野町ほか地内]	"	29	0	10	0	3	0	4	0
116	" (基幹バス[中型])	"	29	0	10	0	3	0	4	0
117	" (基幹バス[小型])	"	29	0	10	0	3	0	4	0
118	" (AED[自動体外式除細動器])	"	29	0	10	0	3	0	4	0
119	豊田三好事務組合の財産処分に関する協議	"	29	0	10	0	3	0	4	0
120	都市公園予定区域の決定(籠川緑地)	"	29	0	10	0	3	0	2	2
121	市道の認定(8路線 / 830.5m)	"	29	0	10	0	3	0	4	0

同意

第3号	監査委員の選任(楠 恭雄氏)	同意	29	0	10	0	3	0	4	0
4	人権擁護委員の推薦(宇野政博氏、久野泰三氏、清水雅雄氏、内藤かをる氏、福岡紘三氏、松本恵子氏、三宅幸人氏)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
5	副市長の選任(加藤恒太郎氏)	"	29	0	10	0	3	0	2	2

報告

第4号	経営状況の報告(土地開発公社はじめ23法人)									
5	継続費等の報告(継続費、繰越明許費、予算繰越)									
6	専決処分の報告(損害賠償額の決定9件、工事請負契約の変更3件)									

議員提出議案

第5号	議会課題検討特別委員会の設置	原案可決	29	0	10	0	3	0	4	0
-----	----------------	------	----	---	----	---	---	---	---	---

陳情(7ページ参照)

第3号	住民の暮らしを守り、公共サービスの充実、格差の是正、働くルールの確立などを求める陳情書									
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



6月13日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会と、予算決算特別委員会で行いました。委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

産業建設委員会

6月14日、付託議案7件を審査し、議案のすべてを承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第99号】豊田市足助バス及び稲武バスの運行に関する条例の一部を改正する条例

質問 地域において土曜、日曜日に開催される行事の参加者の移動手段の確保のために、臨時的な運行ができるのか。

答弁 同じようなルートで運行するのであれば、運行可能であると考えている。ただし、その部分にかかる費用負担は発生する。



【第120号】都市公園予定区域の決定(籠川緑地)

質問 自然を生かした水辺公園をつくるならば、合併で得たすばらしいところに設置すべきだと思うがどうか。

答弁 いろいろな考え方があるが、当初の目的でいくと、この場所が最適であるという評価をした。パブリックコメントなどを行いながら決定

した経過もあり、この場所をお願いしたい。



環境福祉委員会

6月15日に委員会を開催し、陳情1件を報告しました。(付託議案なし)

教育次世代委員会

6月18日、付託議案2件を審査し、すべて全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第112号】工事請負契約の締結(仮称)豊田市総合体育館サブホール・豊田市武道館建設工事

質問 サブホールの整備によるスカイホール豊田との相乗効果をどのように考えているか。

答弁 スカイホール豊田を試合会場とし、サブホールを練習会場とすることで、大会を円滑に開催することが可能となり、国際大会や全国大会の誘致の拡大を図ることができ、見るスポーツの振興につながる。

また、サブホールとスカイホール豊田をあわせた競技スペースによって、市内大会、県大会のような多くの人が集まる大会にも対応することが可能になるなど、するスポーツの振興を図ることができる。

【第118号】財産の取得 AED(自動体外式除細動器)

質問 設置後の取扱い講習会などについて、どのように考えているか。

答弁 7月に設置されるため、8月の夏休み期間中に講習会等を実施したいと考えている。

生活社会委員会

6月19日、付託議案12件を審査し、すべて全会一致で承認しました。

【第100号】豊田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

質問 補償基礎額にかかる3人目以後の扶養親族の扶養加算額のみ増額であるが、その理由は。

答弁 扶養加算額は、国家公務員の扶養手当の月額を用いて算定されている。今回は、国家公務員の扶養手当の月額の一部が改定されたため、扶養加算額のみ改正となっている。



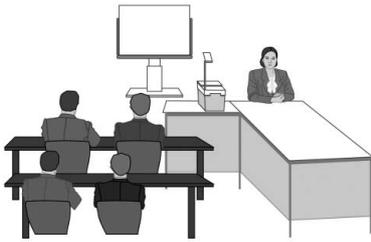
常任委員会は、開催日順に掲載しています。議案名等を一部省略しています。

委員会

【第102～111号】
工事請負契約の締結について

質問 2件が低入札になったと
いうことであるが、適正な
入札結果であると判断した理由は、

答弁 積算内容等を調査したが、
特に問題がなく契約の履
行が確保されると判断した。最終的に
は、低入札調査委員会に諮り落札を
決定したが、適正な発注であると判断
している。



質問 公共下水道の整備区域
の順番はどのように決め、
今年度これらの事業を整備すること
で普及率はどうか。

答弁 本市は矢作川、境川流
域下水道に位置づけられ
た公共下水道として整備を行って
いるため、県の流域下水道幹線に接続
する汚水幹線及びその周辺の市街
化区域の整備を優先している。また、
下流域から地域的なバランスを考慮
するとともに、道路事業や区画整理事
業など他事業との調整を図り、整備を
進めている。今年度は145ヘクタール
の面整備工事を行い、平成20年4月
時点で下水道普及率が現在の78.3%
から81.5%になる予定である。

企画 総務 委員会

6月20日、付託議案5件を審査し、
議案のすべてを承認しました。他に
陳情1件を報告しました。

【第95号】豊田市災害応急対策又は
災害復旧のため派遣された
職員に対する災害派遣手当
の支給に関する条例の一部
を改正する条例

質問 自衛隊員と防衛省職員
に対する手当支給の対象
要件について、どのように解釈す
ればよいか。

答弁 主に災害により甚大な被
害が発生した場合に、本来、
市がやるべき復旧作業を、市のみでは
対応できないというときに限って要請を
するものであるため、専門的知識を有
する防衛省職員は対象となるが、被災
中に責務として対応する自衛隊員は
対象とならない。

【第119号】豊田三好事務組合の
財産処分に関する
協議について

質問 配分金の今後の活用方
法をどのように考えているか。

答弁 交通安全基金へ積立を
行い、その利子を交通安全
教育事業に運用していく。



予算決算特別委員会

各分科会を6月18・20日に、委員会を22日
に開催し、1議案について承認しました。
下記は、6月18日の教育次世代分科会
の内容です。

【第101号】平成19年度 豊田市一般
会計補正予算

質問 PFI方式の給食サービスを
受ける、児童・生徒のメリット
をどう評価して取り組んでいくのか。また
業者選定にあたっては、専門的知識や技
術的なノウハウ等をどう評価するのか。

答弁 現在のサービス水準維持を
原則に、児童・生徒・事業者・行
政ともにメリットがあるため、PFI方式を選択し
た。民間事業者の調理技術、衛生管理およ
び運営等のノウハウを最大限活用できる要
求水準書を作成し、児童・生徒においしい
給食を提供する。

質問 給食の安全性について、材
料調達や調理器具における、
衛生管理・安全管理はどのように確保し
ていくのか。また、献立は誰が作成し、調
理員の勤務状態はどう管理するのか。

答弁 材料調達は市で行う。安全
性は県の栄養士から指導を受
け、保健給食課のチェック体制によって衛生・
安全管理の精度を高めていく。献立は県
の栄養士が作成し、調理員の勤務状態は、
PFI事業者代表者が管理することになる。

今定例会に、次のとおり陳情が
提出され、審査されました。

陳 情

【陳情3号】
住民の暮らしを守り、公共サービスの充実、格
差の是正、働くルールの確立、平和な世界の
実現などを求める陳情書

国民生活において格差と貧困が進行し、労働者の
雇用確保が問題となっている。最低賃金の引き上げや、
格差をなくす均等待遇、働くルールの確立を求める趣
旨の陳情を行う。また、各自治体での、憲法を守り平
和をめざす取組を求める趣旨の陳情も、併せて行う。

上記の1つの陳情が提出され、所管の
委員会へ報告されました。



質問順に掲載しています

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議員団

八木 哲也

自民クラブ

第7次豊田市総合計画について

本市が目指す将来像

質問

第7次総合計画は今後10年間の計画であるが、その先も見据えた計画とすべきと考える。本市が目指すべき将来都市像について、市長の考えはどのようなか。

答 弁

第7次総合計画の策定にあたり、人口減少時代に対応した構造改革、地域力の活性化や安心・安全に関する地域社会の問題に関する事、都市基盤の集約的整備、ものづくり基盤の新たな展開の4点に留意して審議を進めている。これらの点を十分議論する中で、あるべきビジョンを描くことが、総合計画を分かりやすくする上で重要であり、これらの議論を経て、環境に優しい都市、自立型飛躍発展都市を目指したいと考える。

光岡 保之

自民クラブ

施政方針・教育行政方針とその展開

西部丘陵地の保全活用について

質問

西部丘陵地を西の自然観察の森として整備することが、逢妻地区の総意として本市に提言されることとなった。事業化に向けた市の考えはどのようなか。

答 弁

第6次総合計画において、西部丘陵地(拳母西部地区)は緑の文化環境軸、緑の外環に含まれた緑の拠点として位置づけられ、第7次総合計画においてもこの方針を継承し、同地区を緑の外環などに位置づけていく。この地区は市の西部にある重要な緑地として認識しているが、保全に対する担保性が低い状況である。今年度策定する緑

の基本計画において、緑地保全の具体的な手法を検討したい。

吉野 博子

市民フォーラム

各世代に期待される「市民力」について

「市民力」の意味と期待

質問

市長は「市民力」という言葉を機会あるごとに用いているが、現在、地域で期待される具体的な市民力とはどのようなものか。

答 弁

市民力とは、市民一人ひとりが身近な地域課題に対して、自ら考え、発言し、責任を持って行動しようとする気持ちのことである。本市では地縁的組織が中心となり、ふれあい豊かな地域づくりに大きな成果を上げてきたが、社会的背景の変化により、今までの取組だけでは解決できなくなっている。市民力の向上により活動が広がり、地縁的組織との間に補完的な関係ができることを期待する。

樹神 義和

市民フォーラム

豊田市トータル人事システムについて

人事考課の、給与・手当への反映について

質問

本市では人事考課の結果を係長以上の給与や手当に反映させているが、その差額を拡大する考えは、またこの制度の対象を全職員に拡大する考えは、

答 弁

勤勉手当の格差については、3年に一度見直す方針であり、平成11年度の人事考課導入時には各職員の勤勉手当から一律1%を拠出し、15年度支給分から2%、19年度支給分からは3%を



原資とすることとして進めている。今後も3年に一度程度見直すことを考えている。一般職員の考課結果についても給与に反映すべきと考えており、職員組合とも粘り強く交渉していきたい。

梅村 憲夫

自民クラブ

中心市街地の活性化と今後の方向性について
これからの公共交通の方向について

平成22年度以降の公共交通の取組について

質問

本年度から公共交通ネットワークの構築に取り組み、平成22年度にその評価をすることになっている。評価の内容によってどのような取組が予測されるのか。

答 弁

評価指標については、(仮称)評価会議において設定するが、利用率や採算性だけでなく、渋滞緩和やCO2削減の効果、地域における役割等総合的に判断する必要があると考える。利用率の低い路線については、実情にあった運行内容の改善や利用率を上げるための地域の取組を進めたい。IMTSなど新たな交通システムについても、導入に向けた計画検討を進める方針である。

近藤 光良

自民クラブ

定住化促進による活力あるまちづくり

市街化調整区域における定住化促進について

質問

人材確保、地域の交通安全、都心の活性化、森林保全の点から、市街化調整区域においても定住化策を進めべきと考える。市の考えはどのようなか。

答 弁

市街化区域内では、未利用地の利用促進や鉄道駅周辺など利便性の高い区域に計画的な面整備による住宅を供給し、住宅取得支援を図る。定住化を希望する市民ニーズに対応するため、市街化調整区域においても既存集落の住環境保全とコミュニティ維持



一般質問

諸派：会派所属無

を前提に、平成20年度の実施に向け、都市計画法第34条第8号の施策を検討していく。

外山 雅崇 諸派

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業
年金保険料記録漏れについて

年金保険料記録漏れに関する本市の状況と対応 **質問**

5,000万件を超える年金納付記録の記録漏れが問題となっている。本市が管理していた年金の台帳は現在どのような状況か。また、本市として対応策をとる考えはあるか。

答弁

昭和50年度から、保有していた情報を紙から磁気化し、社会保険事務所と同一内容の情報を管理してきた。しかし、平成14年4月から納付記録が国の固有事務になり、その後の記録は更新しないまま保有している。本市独自の行動や限られた情報での相談対応は、逆に市民の方にご迷惑をかけると考える。社会保険庁から協力依頼があれば、適切に対応していく。

岡田 耕一 諸派

新生児の救急医療体制について
小児科の休日、夜間診療の実施について

新生児搬送用保育器の配備について **質問**

本市の市域と人口を考えれば、市の責任において重篤な新生児のための搬送用保育器を最低2台程度は早急に配備すべきと考える。市として購入し整備する計画はあるのか。

答弁

現在、本市として新生児搬送用保育器の整備計画はないが、現在の新生児搬送システムと需要を考慮し、関係医療機関からの借用なども含めて搬送システムのあり方を検討していく。市内の病院からの貸し借も含め、どのようなシステムがいいのかを研究・検討した結果、最終的に購入すべきとの結論が出れば購入したい。

太田 博康 自民クラブ

魅力ある消防団と団員確保の取組について

消防団員の確保に向けた取組 **質問**

全国的にも、消防団員の人員確保には課題が多い。魅力ある消防団づくりのために、今後の本市における消防団のあり方について調査研究する必要があるのでは。

答弁

消防団員を取り巻く環境は旧市内でも地域格差があり、旧合併町村ではそれ以上の格差が生じている。団員確保のためには、団員減少の問題点を地域ごとに把握し、対応策を検討する必要がある。全国の先進事例を調査しながら、団員とその家族にも喜ばれる厚生事業を実施したり、消防団員の地域や会社での地位が向上するよう対策を検討し実施していく。



作元 志津夫 市民フォーラム

新たな健診・保健指導の方向性について

健診体制の変更と地域への支援策 **質問**

平成20年4月から各種健診の実施主体が変更され、多岐にわたる所管となり分かりづらい。今後の健診などの連携と組織のあり方は、また地域別の健康活動の支援策はどのようなか。

答弁

今回の健診体制の変更にあたり、市民の混乱を招かないよう利便性と行政経営の効率化を視点として組織を検討していく。地域への支援策は、健康づくりの自主事業に対して、地区担当の保健師が事業の企画から実施までの助言や指導などを行うほか、ウォーキングコースの指定

や各種教室の開催、活動の中核を担う「ヘルスサポートリーダー」の養成を行っている。

桜井 秀樹 市民フォーラム

第7次総合計画について

第7次総合計画での環境問題への取組 **質問**

第7次総合計画では、目指すべき姿に「環境」という言葉を盛り込むなど、行政の優先課題の1つとして環境問題に取り組むべきでは、市としての考えはどのようなか。

答弁

地球環境問題は優先課題の1つと考えている。重点戦略プログラムの中で「水と緑の環境共生都市の形成」、その施策展開の方針として地球温暖化防止施策の推進を掲げ、地球にやさしいライフスタイルの定着化や新たな環境負荷の交通モデルの実現など、具体的な取組を進めていく。総合計画の随所に環境に配慮した視点や環境問題への対応を位置づけている。

鈴木 規安 自民クラブ

安心して暮らせる地域づくり

内環状線拡幅工事の進捗状況と今後の計画 **質問**

内環状線は、ピーク時に2km以上の渋滞が発生し、歩道の状態も悪く、沿線の児童生徒は大変危険な状態の中で通学している。竜宮橋の4車線化に伴う拡幅工事の進捗状況と今後の計画は。

答弁

本路線は本市が事業主体で進める幹線道路の中では最重要路線と位置づけ、進捗に努めている。昨年度から事業着手し、各自治区で事業説明会を開催。現況測量、路線測量、基礎調査などを完了した。今年度は、仮称「新竜宮橋」に関する国土交通省との河川協議をはじめ、関係機関との協議を進めて用地調査に着手する。事業完成目標は平成28年度の予定である。



質問順に掲載しています

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

加藤 昭孝

自民クラブ

入札・契約制度について

工事請負契約の変更の実態と基準について **質 問**

工事請負契約の変更は、過去に何件あり全体の何%なのか。契約が安易に変更されているように感じるが、契約の変更はどのような基準に基づいて行われるのか。

答 弁

昨年度は全件で548件中485件、89%で契約変更があった。当初設計案では把握不可能なことが必要になった場合、利便性・機能性・安全性の向上を目的とする場合などに変更を行う。契約期間中に元設計を変更する場合は「設計変更事務取扱要領」に基づき変更する。この基準は愛知県の基準に準拠したものであり設計変更できる範囲を示している。

中根 大

自民クラブ

豊田・岡崎地区研究開発施設に係わる諸問題
学校の適正規模及び適正配置について

学校特認校制度の導入への取組について **質 問**

全国的に少子化の中で合併が進み、山間地域を抱えた自治体が学校特認校制度を導入している。本市でも積極的に導入すべきと考えるが、市の検討内容はどのようなか。

答 弁

学校・学区検討委員会にて、平成18年度から小規模特認校制について検討を進めている。本年度は課題を明確にし、解決する方向性を探りながら検討を重ね、年度末までに市の実情に応じた方向性を素案としてまとめる予定である。実施について市民や関係機関の理解が得られたならば、21年

度以降にモデル実施をすることが適切であると考えます。

清水 郁夫

自民クラブ

子どもを大切にするための取組

小中学校における屋外遊具の安全確保 **質 問**

今年4月に大垣市で、5月に常滑市の小学校で児童がケガをする遊具事故が起きた。本市の小中学校における屋外遊具の不良による、事故の実態と点検・修理の実態はどのようなか。

答 弁

遊具の不良による事故は平成18年度は1件発生し、中学生が母校の小学校のタイヤ遊具で遊んでいたところ、ロープが切れ転落し、左肩を骨折した。原因はロープの老朽化であった。学校の屋外遊具の点検は専門業者に委託し、年4回の定期点検と年2回の非破壊安全検査を行っている。定期的な点検と常日頃のメンテナンスを徹底し、安全確保を図る。

加藤 和男

自民クラブ

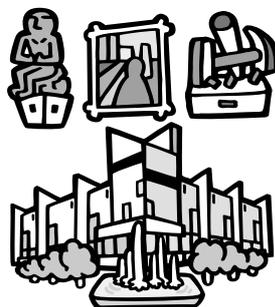
豊田市の文化振興施策への取組について
「指定管理者制度」について
豊田市の将来の都市計画について

(仮)市民交流・文化創造センターの整備方針 **質 問**

豊田市文化ゾーン整備基本構想策定から15年が経過した。旧豊田東高校跡地に計画されている(仮)市民交流・文化創造センターの整備方針はどのようなか。

答 弁

隣接する市民文化会館や美術館との機能的な結びつきを考慮した一体的整備や市民意見を反映した施設整備など、7つの整備方針を検討する。



計画立案に関しては、市民、文化団体等のヒアリング、ワークショップを実施し、市民ニーズを十分把握し、安心・安全で市民が利用しやすい施設として計画の策定を行う。

大村 義則

諸 派

少人数学級など、教育環境の充実を求める
また住民税が大幅増税!減免の拡大を求める

少人数学級の拡大について **質 問**

愛知県では少人数学級を平成20年度から小学2年、21年度から中学1年に拡大する予定である。本市はすでに少人数学級を実施しており、従来と同じ予算でさらに拡大できると考えるが、市の考えは、

答 弁

本市では平成16年度から少人数学級や少人数指導を実施し、子ども一人ひとりを大切にしている。少人数学級・少人数指導推進委員会で、今年度実施した少人数学級対応講師の常勤化による結果をまとめ、今後はその結果に基づき有効性についても研究を進め、少人数学級拡大の必要性と可能性を検討していく予定である。

日恵野 雅俊

自民クラブ

豊田おいでんまつり
駅前通り地区の基盤整備

定期借地権を利用した再開発手法の導入 **質 問**

名鉄豊田市駅周辺の開発は、再開発事業が進められてきたが、事業費が膨らみ保留床も処分しにくい。全国的に注目を集めている定期借地権を利用した再開発手法を導入してはどうか。

答 弁

高松・丸亀地区の定期借地権を利用した再開発事業は、商店街の歴史的背景、民間手法で進められたこと、地元商店主・振興組合の熱意、まちづくりに対する意識の高さなどの特徴がある。権利者の合意形成が重要であり、簡単なくみではないと認識しているが、事業費削減や



一般質問

諸 派：会派所属無

リスク軽減など参考になる部分も非常に多く、今後参考にしながら進めたい。

鈴木 章 自民クラブ

支所機能見直し後の効果と課題
農作物鳥獣害対策連絡協議会の役割

捕獲した害獣の再利用
による新たな産業の創出 質問

現在イノシシなどの害獣は、捕獲後廃棄処分されている。農作物鳥獣害対策連絡協議会で、捕獲した害獣を再利用し、新たな産業創出を計画検討することについて市の考えは、

答 弁

本協議会は、深刻化する農作物被害の対策を目的に設置した機関であり、捕獲したイノシシなどの活用も重要なテーマだと認識している。先進地の取組事例でも活用には多くの課題があり、行政も含め関係者の創意工夫が必要である。今後は需要と供給の見通しを見極めて、イノシシ肉の活用に向けた関係者の取組に対し、必要な支援を十分行いたい。

稲垣 幸保 自民クラブ

豊田市過疎地域自立促進計画について

新たな過疎対策計画の
必要性 質問

現在の過疎地域自立促進特別措置法は平成21年度末で失効となり、現状を考えると次なる過疎計画の策定が必要だ。本市の取組と第7次総合計画における過疎問題の扱いは、

答 弁

本市が加入している全国過疎地域自立促進連盟や全国市長会過疎関係都市連絡協議会を通じ、新過疎法の制定などを要望していく。第7次総合計画では、農山村の過疎対策として「表現はふいが『都市と農山村の共生』を重点テーマに掲げ、都市と農山村の交流や定住促進を行いながら『農山村の再生・活性化』を図るという位置づけを予定している。

根本 美春 諸 派

中学校卒業までの医療費無料化の拡大を求める
保育園・幼稚園の再整備で保育の後退はないか

子どもの医療費無料化の
拡大について 質問

子育て世代は子どもにかかる医療費の負担が大きく、義務教育期間の無料化を求める要望が多い。通院、入院とも中学卒業まで無料化するために必要な費用と市の方針は、

答 弁

小中学生の医療費の推計は、通院分で約10億円、入院分で約2億円、合わせて約12億円である。医療費の無料化については、今後、県の実施案確定や県内各市の動向、財源の見通しなどを各方面から検討し、年内には結論を出そうと考えている。中学卒業まで医療費の無料化を拡大する提案については、あくまで意見として受けとめたい。



湯本 芳平 市民フォーラム

ごみ減量計画について

「グリーン・クリーンふじの丘」
のサービス向上 質問

「グリーン・クリーンふじの丘」の営業時間は、市役所市民課と比較しても短く、平日だけの営業である。市民サービス向上のために、営業時間の変更を検討してはどうか。

答 弁

受入れ時間を午後4時までとしているのは、最終の搬入ごみを受入れた後、飛散防止作業などを行う時間を設けているためである。昼時間のごみの受入れは、来年度以降、前向きに検討したい。休みの日の入替えについては、現在、祝日受入れを行っており、また、地元の理解や需要見込みなども考慮せねばならず、

現時点では考えていない。

都築 繁雄 自民クラブ

矢作川河床埋没林のその後
産業用地と住宅用地の確保
環境学習の推進

矢作川河床埋没林の
教材利用と保存 質問

平成16年9月に発見された埋没林を、児童・生徒への教材として利用する考えはあるか。また、資料群を後世に伝えるために、保存場所をどのように確保していくのか。

答 弁

埋没林は、縄文晩期の生態系と平野の環境の移り変わりを勉強する貴重な教材である。夏休み期間に郷土資料館で企画展を開催し、児童・生徒への周知を図っていく。またパンフレットを作成し、学校の副教材などへの活用も考えている。埋没林は河川敷にあり、現地での保存は難しい。今後は、郷土資料館の再整備の中で、常設展示の活用を検討したい。

佐藤 恵子 公明党

子どもを生き育てやすい豊田市に
循環型社会の推進

妊婦健診の実態と
費用の公費負担について 質問

妊婦健診の費用について、公的助成があると子どもを産みやすいという意見を多く聞く。健診の実態として、受診状況はどのようか。また、費用の公費負担に関する市の考えは、

答 弁

妊婦健診について、近隣中核市の実態調査では受診回数9～12回が全体の74%を占めている。一方、8回以下が14%で、未受診の対策が今後の課題だと考える。現在、本市では2回を公費負担で実施しているが、今後は国の示す健診内容を含め、充実させる必要がある。今年10月からは5回、来年度からは14回の公費負担という考えで関係機関と調整したい。



勤続議員20年表彰

全国市議会議長の表彰規程により、本市議会では3名が勤続20年表彰を受賞しました。6月定例会閉会日の6月26日に、岩月議長から天野弘治議員と光岡保之議員に表彰伝達されました(鈴木伸介前議員は別に伝達)。引き続きの活躍が期待されます。



左から天野議員、光岡議員

議員有志が花飾り活動を実施

本市役所を訪れた方々を花でもてなすため、6月8日に庁舎連絡橋で議員有志が花飾り活動を行いました。活動開始から6回目を迎える今回は、ヘデラやペゴニアなどを使っ



た寄せ植えを作成。西山花クラブの講師5名による指導のもと、初夏らしく爽やかなハンギングバスケットを連絡橋に飾りました。

花飾り活動の様子

議会の委員会視察

5つの常任委員会では、市政の課題や先進事例の調査を行うため、本年度もそれぞれ以下の内容で市内、または他都市への行政視察を予定しています。

市内視察

- 企画総務委員会 7/31(火) 豊田・岡崎地区研究開発施設用地予定地 他
- 生活社会委員会 7/31(火) 四季の回廊ミュージアム構想、待月橋 他
- 教育次世代委員会 6/27(水) 飯野保育園、井上水泳場温水プール 他
- 環境福祉委員会 7/31(火) 環境学習施設eco-T、PCB廃棄物処理施設 他
- 産業建設委員会 7/31(火) 浄水区画整理事業、農ライフ創生センター 他

行政視察

教育次世代委員会 [7/31(火)~8/2(木)]

- 神奈川県川崎市 子どもの権利施策検証システム、子どもの権利学習の資料作成と促進、子ども夢パーク
- 神奈川県横浜市 横浜教育ビジョン
- 神奈川県 神奈川県立歴史博物館
- 東京都 江戸東京博物館
- 埼玉県 子ども権利擁護委員会の設置と活動

請願と陳情

市政に関する要望や意見を直接議会に提出することができます。紹介議員があるものを請願、ないものを陳情といい、取扱いを分けています。これらは請願権といい、憲法で保障された国民の基本的権利のひとつで、誰にでも認められているものです。

審査の流れ

請 願	陳 情
申請	申請
受理	受理
議会運営委員会で付託する委員会を協議	議会運営委員会で送付する委員会を協議
本会議に上程	本会議に資料として配付
委員会に付託	委員会に送付
委員会で審査	委員会で意見交換
審査結果を本会議で報告	陳情者へ結果通知
本会議で議決	
請願者へ結果通知	

なお、請願や陳情は様式や提出方法が決まっていますので、詳しくは議会事務局にお問合せください。詳細は市議会ホームページもご覧ください。

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・問合せ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

ホームページ
アドレス

<http://www.city.toyota.aichi.jp>

代表：一般質問の様子は、インターネット録画放映でも閲覧できます。「市議会ホームページ」<その他>の「議会中継 録画映像」をクリック!

議会中継は、ケーブルテレビとFMラジオで視聴できます。

放送チャンネル	生中継・録画放送	生放送
	ひまわりネットワーク 21ch(アナログ) 121ch(デジタル)	ラジオ・ラビート 78.6 MHz

9月市議会定例会の予定

9月市議会定例会は
9月7日(金)開会予定です

この冊子は、折込み「6月市議会定例会 夏号」です。このページは裏面になります。本紙から抜き取ってご覧ください。